

のぐち うじょう  
 ♪ 野口 雨情 (1882-1945)

詩人。詩集・童謡集・民謡集を多数出版し、暖かみのある作品が人々に親しまれる。全国を行脚し、民謡・童謡の普及に尽力。

■代表曲

「十五夜お月さん」「赤い靴」「しゃぼん玉」「波浮の港」

■こんな人物

本名は英吉。明治 35 年（1902）に東京専門学校（現早稲田大学）予科文学科を中退。明治 37 年（1904）高塩ヒロと結婚し、その翌年に創作民謡集『枯草』を出版する。明治 40 年（1907）に人見東明らと早稲田詩社を結成した。同年、北海道に渡り、小樽日報などの新聞社に勤務する。大正 4 年（1915）にヒロと離婚。大正 7 年（1918）に中里つると再婚。大正 10 年（1921）に発表した「船頭小唄」が大ヒットとなる。同年、民謡集『別後』、童話集『十五夜お月さん』を刊行。この頃から『こども雑誌』や『金の船』に毎号童謡を発表している。また大正 10 年に『童謡作法問答』、大正 12 年（1923）には『童謡十講』など、理論的啓蒙書も刊行している。

■生没年

明治 15 年（1882）茨城県多賀郡北中郷村磯原（現・北茨城市）の廻船問屋の豪邸に生まれる。没年は昭和 20 年（1945）。疎開先の栃木県河内郡姿川村鶴田（現・宇都宮市）にて亡くなる。享年 63 歳。墓所は東京の小平霊園と故郷の磯原に分骨されている。

♪ 参考文献

- ・『野口雨情の生涯 創作民謡・童謡詩人』長久保片雲著 暁印書館 1980 [911.52/135]
- ・『童謡・唱歌の旅』北辰堂出版 2009（感傷旅行 1）[767.7/242]